

コンテナ物流情報サービス (Colins) の提供サービス拡大

国土交通省港湾局は、本日より「コンテナ物流情報サービス (Colins)」(<http://www.colins.ne.jp>) の混雑状況カメラを、神戸港ポートアイランド、神戸港六甲アイランドの2カ所に12台を新たに設置し、サービス提供を開始します。

大阪港夢洲地区に設置する1台のカメラについては、平成23年4月1日よりサービス提供を開始する予定です。

この結果、京浜港において現在45台設置されているカメラが、京浜港と阪神港を合わせて58台となります。設置箇所については、別紙1-1を参照ください。

CY 搬出可否情報及び船舶動静情報については、平成23年3月28日より横浜港本牧 D5 (国際コンテナターミナル)、神戸港 RC-1,2 (三井倉庫) が、新たにサービス提供を開始する予定です。これにより、Colins の対象とする京浜港のコンテナターミナルが全て Colins に参加することとなります。

また、平成23年4月1日より神戸港 PC-13 (APL)、大阪港南港 C9ターミナル (三菱倉庫)、大阪港夢洲 C10-12 (DICT)、四日市港霞ヶ浦北埠頭 W80、霞ヶ浦南埠頭 W26,27 (四日市コンテナターミナル) においてサービス提供を開始することとなりました。

現在の、サービス提供ターミナルは別紙1-2を参照ください。

なお、東京都港湾局が保有する船舶動静情報も既にサービス提供を開始しております。